



Title	MIEDIT (マイエディット) 利用の手引
Author(s)	中島, 重雄
Citation	大阪大学大型計算機センターニュース. 1988, 71, p. 101-132
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/65809
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

MIEDIT (マイエディット) 利用の手引

システム管理掛 中島重雄

MIEDITはエディタの機能の一部を端末上で動作させるもので、最も大きな特徴としてはキー操作を主体としているためコマンドを覚える必要がないことである。また、画面を分割して二つのファイルの編集が行えたり、キーの機能をユーザの好みに変更出来ることがあげられる。まだまだ不備な点もあるが、画面エディタや日本語エディタよりは格段に使い易くなっている。ここでは最も基本的な使用法について述べることにする。詳しくは次のマニュアルを参照のこと。

【F E F 3 3 - 1 A C O S - 6 / M V X T S S 管理マイエディット説明書】

※ 動作可能端末

N5200シリーズ (03, 05mkII, 07, 07AD), N5300/AD, N6500, PC-9800シリーズ。なお、MIEDITはセンター内に設置されているN5200/07, 第2端末室のPC9800で使用できる。センター外で使用する場合はそれぞれ専用の端末エミュレータが必要となる。

【概要】

1. 起動方法

MIEDITの起動方法
主なキーの説明

2. 終了方法

終了方法
MIEDIT起動時のメニュー画面省略方法

3. 編集方法

文字列挿入	(カーソル位置に文字を挿入)
文字列削除	(カーソル位置の文字を削除、復活)
行挿入	(カーソルの次に空白行を挿入)
行削除	(カーソル行の削除、復活)
行分割	(行の分割)
行結合	(2行を1行にする)
文字列検索	(終端または、先頭へ向けての検索)
文字列一括置換	(検索文字を置換)
範囲指定の削除	(範囲指定行を削除)
範囲指定の移送	(範囲指定行を任意の位置へ移送)
範囲指定の複写	(範囲指定行を任意の位置へ複写)
範囲切換	(範囲指定を行、文字列、矩形に切換える)

4. 助機能

機能変更	(モードの切り換え等)
ヘルプ機能	(キーの説明や編集方法の説明)
コマンド入力	(MIEDIT中にTSSコマンドの使用)

5. 画面分割

2つのファイルを画面分割して編集

6. カストマイズ

キーの機能設定等を好みに変更

7. 付録

キー割付、機能番号一覧

1. 起動方法

- ① **S Y S T E M?** または ***** (ビルドモード) で **M I E D** と入力。
次の画面となる。最下行にメニューが表示されるのでこの画面をメニュー画面と呼ぶことにする。

【メニュー画面】

M I E D		挿入 行位置 :	総行数 :
操作概要			
• 既存ソースの編集 「読み込む」に反転表示を位置付けリターンキーを押下すると、パラメータ入力ウインドウが表示される。読み込むファイル名を指定し、リターンキーを押下すると指定ファイルが編集可能となる。			
• 新規ソースの作成 「新規作成」に反転表示を位置付けリターンキーを押下すると、パラメータ入力ウインドウが表示される。ファイル名、及び言語タイプを指定してリターンキーを押下すると新規入力が可能となる。			
• ヘルプ表示 「ヘルプ」を選択してリターンキーを押下すると、ヘルプメニューが表示される参照したい項目に反転表示を位置付けリターンキーを押下すると項目の機能や入力方法の説明文が表示される。			
取消	編集	検索置換	位置付け
ファイル	画面分割	補助機能	終了

ここで例は既存のパーマネントファイルの編集を行うものとする。

- ② ↑↓キーにより “読み込み” を反転表示させリターンキーを押す。

書き出し		
新規作成		
読み込み		
位置付け	ファイル	画面分割

操作概要

・既存ソースの編集

「読み込む」に反転表示を位置付けリターンキーを押下すると、パラメータ入力ウインドウが表示される。読み込むファイル名を指定し、リターンキーを押下すると指定ファイルが編集可能となる。

・新規ソースの作成

「新規作成」に反転表示を位置付けリターンキーを押下すると、パラメータ入力ウインドウが表示さ

押下すると新規入力

・ヘルプ表示

「ヘルプ」を選択

参照したい項目に反
方法の説明文が表示

サブファイル一覧画面を表示したい時には、サブファイル名に星印規則（＊、？、^）を用いて下さい。

ファイル名

F L 1

サブファイル名

言語タイプ

J I P S

オプション

N L N

取消	編集	検索置換	位置付け	ファイル	画面分割	補助機能	終了
----	----	------	------	------	------	------	----

③ 項目の移動は↓キーにより行う。

ファイル名 ・・・ ここでは、 “F L 1” というファイルを編集
(カタログ構造の例 /カタログ名/ファイル名)
もしカレントファイルを編集するならば “*” を指定

サブオプション ・・・ ファイル名で、ソースライブラリファイル等を指定した場合のみ
必要で、ここでは何も指定しない

言語タイプ ・・・ 既定値の J I P S

オプション ・・・ このファイルはラインナンバーがないので “N L N” を指定
ラインナンバーが付いているファイルならば “L N” かまたは省略

④ 設定を終了し、リターンキーを押すと次のような画面となる。ここでは編集画面と
よぶことにする。

【参考】

1 レコードの最大長は 256 バイトである。

【編集画面】

[RUN] MIEDITL R001.1F 000 KBO	MIED FL1 JIPS 挿入 行位置: 1 総行数: 10
....*....1....*....2....*....3....*....4....*....5....*....6....*....7...	
\$ JOB	
\$ FRT77 LSTIN	
READ (5, 5) A, B, C	
5 FORMAT (3F4. 2)	
D=A*B+C	
WRITE (6, 6) A, B, C, D	
6 FORMAT (3X, 4F4. 2)	
STOP	
END	
\$ GO	

範囲開始	範囲切換	複写	切取	貼付	取消	置換	順検索	画面切換	復活
------	------	----	----	----	----	----	-----	------	----

【キー説明】

画面最下行の機能はファンクションキーに対応する (p f . 1 範囲開始 . . . p f . 10 復活)

また、主なキーとして次のものがある。

[p f . 16]	一行削除	カーソルのある行を削除
[p f . 17]	カーソル直前一文字削除	
[p f . 18]	カーソル位置一文字削除	
[p f . 19]	モード切換	挿入モードと上書モードの切換
[p f . 21]	メニューキー	メニュー画面にする PC9800では、[[HOME CLR]]キー
[E S C], [R E S E T]		完結していないモードの取り消し

※ カーソル移動

MIEDITの特徴として、カーソル移動キーによりテキスト内を自由に移動することが出来る。

- ↓ 画面の最下行にカーソルがある時にこのキーを押せば画面はスクロールアップされる
- ↑ 画面の最上行にカーソルがある時にこのキーを押せば画面はスクロールダウンされる
- ← 右スクロールを行う (画面左側にテキストがある場合)
- 左スクロールを行う (画面右側にテキストがある場合)

また、次の機能を利用すれば大変便利である (C T R Lキーと英字を同時に押すことを示す)

- C T R L + G カーソルを行の左端に移動
- C T R L + H カーソルを行の右端に移動
- C T R L + J カーソルをテキストの先頭に移動
- C T R L + K カーソルをテキストの末尾に移動

この他にも便利なキーがあるので詳しくは付録Aを参照のこと。またこれらのキーを自分の好みに変更が可能である。「6. カストマイズ」の項参照。ここでは、既定値のキー機能で説明を行う。

2. 終了方法

- ① メニューキー (p f・21キー, PC9800ではHOME CLRキー) を押した後,
→ ←キーにより“終了”の位置へもっていく。

画面分割	補助機能	終了
------	------	----

- ② リターンキーを押すと次の画面となる (テキストの編集を行った場合表示される)

M I E D F L 1		挿入 行位置 :	総行数 :
\$ J O B \$ F R T 77 L S T I N R E A D (5, 5) 5 F O R M A T (3 F D=A*B+C W R I T E (6, 6 6 F O R M A T (3 X S T O P E N D \$ G O		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 編集処理が行われましたが、まだファイルに書き出されていません。以下の処理を選択して下さい。 編集結果を廃棄して終了する ファイルに書き出した後終了する ファイル名 <input type="text" value="/C A T 1 / F F F 2"/> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> サブファイル名 <input type="text"/> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 言語タイプ <input type="text" value="J I P S"/> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> オプション <input type="text" value="N L N"/> </div>	
取消	編集	検索置換	位置付け
ファイル	画面分割	補助機能	終了

- ③ 編集したテキストを保存するパーマネントファイル名を指定しリターンキーを押す。
既に存在するファイル名ならばR E S A V Eされ、新しいファイル名なら作られる。

2-1 M I E D I T起動時、メニュー画面出力を省略し編集画面表示にする方法

M I E D *カストマイズファイル名 N (新規作成) S (カレント) 言語タイプ : オプション
ファイル名

【例】*M I E D F L 1 : N L N * * * * * パーマネントファイル名が F L 1
ラインナンバー無しファイル : N L N
ラインナンバー有のファイルであれば
* M I E D F L 1 とする

※ カストマイズファイルについては、「6. カストマイズ」で説明を行う。

3. 編集方法

次に、具体的に編集方法を説明するが、主に“挿入”モードについて行う。“挿入”モードと“上書”モードは、モード切換キー（p f • 19）で切り換えることが出来、どちらのモードかは画面最上行に常に表示されている。

3-1 文字列挿入

【例】

「A B C」のBとCの間にX Y Zを挿入し「A B X Y Z C」とする。

①カーソル移動キー（→←↑↓）により挿入したい位置へカーソルを移動

0 0 3 0 A B C

②文字「X」を入力する

0 0 3 0 A B X C

③続けて文字列「Y Z」を入力

0 0 4 0 A B X Y Z C

3-2 文字列削除

【例】

「A B C D E F」の2文字「C D」を削除。

①カーソル移動キーにより「C」の位置へカーソルを移動

0 0 3 0 A B C D E F

②削除キー（p f • 18, P C 9 8 0 0 ではDEL）を押す

0 0 3 0 A B D E F

③続けて削除キーを押す

0 0 3 0 A B E F

※ 削除キーを誤って押した場合や、連続押下により消去し過ぎた場合は、復活キー（p f • 10）により復活できる。

【例】

「A B C D E F」の「C D」を消去するつもりが「E」まで消去してしまった場合の復活手順。

①削除キーにより「C D E」を消去

0 0 3 0 A B F

②復活キーを一度押す

0 0 3 0 A B E F

続けて復活キーを押せばCやDも復活できる。

3-3 行挿入

カーソル行の前に空白行を挿入する。

【例】

①カーソルを行の先頭に位置付ける

0 0 3 0 A A A A A

0 0 4 0 ■ B B B B B

②リターンキーを押す

0 0 3 0 A A A A A

0 0 3 1

0 0 4 0 B B B B B

※ カーソル行の次に空白行を挿入するには SHIFT+リターンキー。

N 5 2 0 0 の場合は SKIPキーの隣のキー。

3-4 行削除

カーソル行を削除し以降の行を前に詰める。

【例】

B B B B の行を削除

①カーソルを B B B B の位置へもっていく

0 0 3 0 A A A A

0 0 4 0 ■ B B B B

0 0 5 0 C C C C

②行削除キー (p f • 1 6) を押す

0 0 3 0 A A A A

0 0 4 0 C C C C

※ 誤って行削除してしまった行の復活も復活キー (p f • 1 0) で可能。

3-5 行分割

行の途中のカーソル位置から行を分割する。

【例】

①カーソルを行の途中へ位置付ける

0 0 3 0 A A A A ■ a a a a

0 0 4 0 B B B B

0 0 5 0 C C C C

②リターンキーを押す

0 0 3 0 A A A A

0 0 3 1 a a a a a

0 0 4 0 B B B B

3-6 行結合

復改コードを削除することにより行う。

【例】

①復改コードにカーソルを位置付ける

0 0 3 0 A A A A ↓

0 0 4 0 B B B B ■

0 0 5 0 C C C C ↓

②削除キーを押す

0 0 3 0 A A A A ↓

0 0 4 0 B B B B C C C C ↓

※ ここで復改コード (P C 9 8 0 0 の場合, ↓ N 5 2 0 0 の場合, ↴) は標準では表示されていないが機能変更 (「4. 補助機能」を参照) で表示するか否かを指定できる。または、カスタマイズ機能により起動時から表示させることも可能。
「6. カスタマイズ」にその例があるので参照のこと。

3-7 文字列検索(順検索)

現在のカーソル位置からテキストの終端に向かって検索し、下線表示される。

① 順検索キー (p f + 8) を押す

```
[RUN] MIEDITL R001.1F 000 KBO
MIED FL1 JIPS 挿入 行位置: 2 総行数: 10
.....*.....1.....*.....2.....*.....3.....*.....4.....*.....5.....*.....6.....*.....7...
$   JOB
$   ■ FRT77 LSTIN
      READ (5, 5) A, B, C
  5 FORMAT (3F4. 2)
      D=A*B+C
      WRITE (6, 6) A, B, C, D
  6 FORMAT (3X, 4F4. 2)
      STOP
      END
$   GO
```

検索する文字列を指定して下さい
FORM

②検索したい文字列 “FORM” と入力しリターンキーを押す。

次の画面のように、文字列が見つかれば下線表示される。

```
[RUN] MIEDITL R001.1F 000 KBO
MIED FL1 JIPS 挿入 行位置: 4 総行数: 10
.....*.....1.....*.....2.....*.....3.....*.....4.....*.....5.....*.....6.....*.....7...
$   JOB
$   ■ FRT77 LSTIN
      READ (5, 5) A, B, C
  5 ■ORMAT (3F4. 2)
      D=A*B+C
      WRITE (6, 6) A, B, C, D
  6 FORMAT (3X, 4F4. 2)
      STOP
      END
$   GO
```

範囲開始 範囲切換 検索 切取 貼付 取消 置換 順検索 画面切換 復活

※ 同じ文字列を検索したければ “CTRL+^” で行える
この例の場合、7行目の “FORM” を検索する。

3-8 文字列検索（逆検索）

現在のカーソル位置からテキストの先頭に向かって検索し、下線表示する。

- ① メニューキーを押し、 “検索置換”に位置付ける
- ② ↑↓キーで “逆検索”に位置付け、 リターンキーを押す。

一括検索		
一括置換		
逆検索		
置換		
順検索		
編集	検索置換	位置付け

- ③ “検索する文字列を指定して下さい”の問い合わせに文字列を入力

※ 同じ文字列を検索したければ “CTRL+￥”で行える

3-9 文字列一括置換

テキスト内の文字列を一括して検索置換する。

- ① メニューキーを押し、 “検索置換”に位置付ける
- ② ↑↓キーで “一括置換”に位置付け、 リターンキーを押す。

一括検索		
一括置換		
逆検索		
置換		
順検索		
編集	検索置換	位置付け

次の画面となる。この場合のカーソル位置は2行めにあるものとする。

```
[RUN] MIEDITL R001.1F 000 KBO
MIED FL1 JIPS 挿入 行位置: 2 総行数: 10
.....*....1.....*....2.....*....3.....*....4.....*....5.....*....6.....*....7...
$ JOB
$ FRT77 LSTIN
  READ (5, 5) A, B, C
  5 FORMAT (3F4. 2)
  D=A*B+C
  WRITE (6, 6) A, B, C, D
  6 FORMAT (3X, 4F4. 2)
  STOP
  END
$ GO
```

検索する文字列を指定して下さい

置換する文字列を指定して下さい

- ③ 検索したい文字列 “B” と入力後↓キーを押す。
④ 置換したい文字列 “XXX” を入力しリターンキーを押すと次の画面のように、置換される。

```
[RUN] MIEDITL R001.1F 000 KBO
MIED FL1 JIPS 挿入 行位置: 総行数:
.....*....1.....*....2.....*....3.....*....4.....*....5.....*....6.....*....7...
$ JOB
$ FRT77 LSTIN
  READ (5, 5) A, XXX, C      . . . BがXXXに置換
  5 FORMAT (3F4. 2)
  D=A*XXX+C      . . . BがXXXに置換
  WRITE (6, 6) A, XXX, C, D  . . . BがXXXに置換
  6 FORMAT (3X, 4F4. 2)
  STOP
  END
$ GO
```

範囲開始 範囲切換 複写 切取 貼付 取消 置換 順検索 画面切換 復活

【参考】

もし、その一括置換が間違いだった場合、取消キー (p f • 6) により復活することが出来る。

これより、複数行の編集（削除、移送、複写）の説明を行う。範囲の指定方法として行範囲指定、文字列範囲指定、矩形範囲指定が選べる（p f・2キーで切り換えることが出来る）。ここでは行範囲での例で説明を行う。

3-10 範囲指定の削除

【例】

次のようなテキストがあり、3行目から7行目までを削除。

- ① 削除したい行の所にカーソルを持っていく。
- ② 範囲開始キー（p f・1）を押す。

```
[RUN] MIEDITL R001.1F 000 KBO
MIED * JIPS 行範囲指定中 挿入 行位置： 総行数：99

.....*....1....*....2....*....3....*....4....*....5....*....6....*....7...
北海道大学
東北大学
■ 大阪大学
関西大学
同志社大学
関西学院
立命館大学
東京大学
名古屋大学
京都大学
広島大学
九州大学

範囲開始 範囲切換 複写 切取 貼付 取消 置換 順検索 画面切換 復活
```

- ③ 削除したい行の最後の行にカーソルを持っていく。
始めの位置からこの部分まで画面は反転表示される。

```
[RUN] MIEDITL R001.1F 000 KBO
MIED * JIPS 行範囲指定中 挿入 行位置： 総行数：99

.....*....1....*....2....*....3....*....4....*....5....*....6....*....7...
北海道大学
東北大学
■ 大阪大学
関西大学
同志社大学
関西学院
■ 立命館大学
東京大学
名古屋大学
京都大学
広島大学
九州大学

範囲開始 範囲切換 複写 切取 貼付 取消 置換 順検索 画面切換 復活
```

④ 切取キー（p f • 4）を押すと同時にこの範囲は画面から消える。

[RUN] MIEDITL R001.1F 000 KBO	
MIED	*
JIPS 挿入 行位置: 3 総行数: 22	
.....*.....1.....*.....2.....*.....3.....*.....4.....*.....5.....*.....6.....*.....7...	
北海道大学 東北大学 ■ 東京大学 名古屋大学 京都大学 広島大学 九州大学	
範囲開始	範囲切換
複写	切取
貼付	取消
置換	順検索
画面切換	復活

【参考】

誤って削除した場合、取消キー（p f • 6）により復活できる。

範囲指定を取消すのは〔E S C〕キーである。

3-11 範囲指定の移送

【例】

次のテキストの3~7行を10行の後に移送。

- ① 移送したい行の所にカーソルを持っていく。
- ② 範囲開始キー (p f . 1) を押下する。このとき、その行が反転表示される。

```
[RUN] MIEDITL R001.1F 000 KBO
MIED * JIPS 行範囲指定中 挿入 行位置： 総行数：99

....*....1....*....2....*....3....*....4....*....5....*....6....*....7...
北海道大学
東北大学
■ 大阪大学
関西大学
同志社大学
関西学院
立命館大学
東京大学
名古屋大学
京都大学
広島大学
九州大学

範囲開始 範囲切換 複写 切取 貼付 取消 置換 順検索 画面切換 復活
```

- ③ 移送したい行の最後の行にカーソルを持っていく。
- 始めの位置からこの部分までの画面は反転表示される。

```
[RUN] MIEDITL R001.1F 000 KBO
MIED * JIPS 行範囲指定中 挿入 行位置： 総行数：99

....*....1....*....2....*....3....*....4....*....5....*....6....*....7...
北海道大学
東北大学
■ 大阪大学
関西大学
同志社大学
関西学院
立命館大学
東京大学
名古屋大学
京都大学
広島大学
九州大学

範囲開始 範囲切換 複写 切取 貼付 取消 置換 順検索 画面切換 復活
```

④ 切取キー (p f • 4) を押すと同時にこの範囲は画面から消える。

[RUN] MIEDITL R001. 1F 000 KBO									
MIED * JIPS挿入 行位置: 3 総行数: 22									
....*....1....*....2....*....3....*....4....*....5....*....6....*....7...									
北海道大学									
東北大学									
■	東京大学								
名古屋大学									
京都大学									
広島大学									
九州大学									
範囲開始	範囲切換	複写	切取	貼付	取消	置換	順検索	画面切換	復活

⑤ 範囲指定した行を移送したい位置へカーソルを持っていく。

⑥ 貼付キー (p f • 5) を押すとその範囲がカーソルの後に移送される。

[RUN] MIEDITL R001. 1F 000 KBO									
MIED * JIPS挿入 行位置: 3 総行数: 22									
....*....1....*....2....*....3....*....4....*....5....*....6....*....7...									
北海道大学									
東北大学									
東京大学									
名古屋大学									
■	京都大学								
大阪大学									
関西大学									
同志社大学									
関西学院									
立命館大学									
広島大学									
九州大学									
範囲開始	範囲切換	複写	切取	貼付	取消	置換	順検索	画面切換	復活

以上のように、削除の操作と①から④までは同じである。切り取った行をバッファに入れそれを貼り付けるかどうかである。

3-12 範囲指定の複写

【例】

次のテキストの3~7行を10行の後に複写する。

- ① 複写したい行にカーソルを持っていく。
- ② 範囲開始キー (p f . 1) を押下する。このとき、その行が反転表示される。

```
[RUN] MIEDITL R001.1F 000 KBO
MIED * JIPS 行範囲指定中 挿入 行位置： 総行数：99
.....*....1.....*....2.....*....3.....*....4.....*....5.....*....6.....*....7...
北海道大学
東北大學
■ 大阪大學
関西大學
同志社大學
関西學院
立命館大學
東京大學
名古屋大學
京都大學
広島大學
九州大學

範囲開始 範囲切換 複写 切取 貼付 取消 置換 順検索 画面切換 復活
```

- ③ 複写したい行の最後の行にカーソルを持っていく。始めの位置からこの部分までの画面は反転表示されている。

```
[RUN] MIEDITL R001.1F 000 KBO
MIED * JIPS 行範囲指定中 挿入 行位置： 総行数：99
.....*....1.....*....2.....*....3.....*....4.....*....5.....*....6.....*....7...
北海道大学
東北大學
■ 大阪大學
■ 関西大學
同志社大學
■ 関西學院
■ 立命館大學
東京大學
名古屋大學
京都大學
広島大學
九州大學

範囲開始 範囲切換 複写 切取 貼付 取消 置換 順検索 画面切換 復活
```

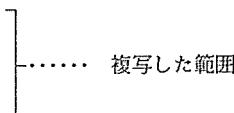
- ④ 複写キー (p f . 3) を押す。このとき編集画面の下段に“指定範囲を補助バッファに複写しました”というメッセージがでてくる。

[RUN] MIEDITL R001.1F 000 KBO
MIED * JIPS 挿入 行位置: 3 総行数: 22
.....*.....1.....*.....2.....*.....3.....*.....4.....*.....5.....*.....6.....*.....7...
北海道大学
東北大学
大阪大学
関西大学
同志社大学
関西学院
■立命館大学
東京大学
名古屋大学
京都大学
広島大学
九州大学

指定範囲を補助バッファに複写しました。

- ⑤ カーソルを複写したい位置に持っていく。
 ⑥ 貼付キー (p f . 5) を押すとその範囲がカーソルの後に複写される。

[RUN] MIEDITL R001.1F 000 KBO
MIED * JIPS 挿入 行位置: 3 総行数: 22
.....*.....1.....*.....2.....*.....3.....*.....4.....*.....5.....*.....6.....*.....7...
北海道大学
東北大学
大阪大学
関西大学
同志社大学
関西学院
■立命館大学
東京大学
名古屋大学
■京都大学
大阪大学
関西大学
同志社大学
関西学院
立命館大学
広島大学
九州大学



範囲開始 範囲切換 複写 切取 貼付 取消 置換 順検索 画面切換 復活

同じ内容を何か所にも複写したければ、⑤から⑥を繰り返せば可能である。

3-13 範囲切換

以上の例では、行範囲指定のみの説明を行ったが、MEDITではこのほかに文字列の範囲指定や矩形での範囲指定も行える。これらを有効に使っていただきたい **p f**・**2**キーを押すことによって 行→文字列→矩形の順に切り換わる。ただしこのキーは **p f**・**1**を押し範囲指定をおこなっているときのみ意味がある。

(■は範囲開始キー押下位置 □は現在のカーソル位置)

• 行範囲指定

行単位での削除、移動、複写の作業範囲を決めます。

行範囲形式 (■と□が同じ位置のときは1行)

① 1行のとき

A■AAAAAA□AAAAAA

② 複数行のとき

A■AAAAAA
B B B B B B B
C C C C C C C
D□D D D D D D

AAA■AAA
B B B B B B B
C C C C C C C
D D D D □ D D

• 文字列指定

文字列での削除、移動、複写の作業範囲を決めます。

文字列形式 (■と□が同じ位置のときは1字)

① 1行のとき

A■AAAAAA□AAAAAA

② 複数行のとき

A■AAAAAA
B B B B B B B
C C C C C C C
D□D D D D D D

AA■AAA
B B B B B B B
C C C C C C C
D D D D □ D D

• 矩形指定

矩形での削除、移動、複写の作業範囲を決めます。

矩形形式（■と□が同じ位置のときは1行1桁）

① 1行のとき（横）

A■AAAAAA□AAAAAA

（縦）

A■AAAAAA
BBBBBBBB
CCCCCCCC
D□DDDDDD

② 複数行のとき

A■AAAAAA
BBBBBBBB
CCCCCCCC
DDDDDD□DD

4. 補助機能

コマンド入力、HELPメッセージ、再行番号付け、機能変更を行う。

- ①メニューキーを押し、"補助機能"に位置付ける

機能変更	
再番号付	
ヘルプ	
コマンド	
画面分割	補助機能
	終了

4-1 機能変更

タブ位置の変更、画面送り単位の変更、モードの切り替え（行番号、復改コード、診断メッセージの表示／非表示、範囲指定の開始形式の変更）を行う。

【例】

復改コードの表示（PC9800は↓、N5200は」）をするか否かを変更。

- ①↑↓キーを押し、"機能変更"に位置付け、リターンキーを押す。

M I E D F L 1		挿入 行位置：	総行数：
\$	J O B		
\$	F R T 7 7 L S T I N		
	R E A D (5, 5) A, X X X, C		
5	F O R M A T (3 F 4. 2)		
	D=A*X X X+C		
	W R I T E (6, 6) A, X X X, C, D		
6	F O R M A T (3 X, 4 F 3. 2)		
	S T O P		
	E N D		
\$	G O	***機能変更メニュー*** タブ位置の変更 画面送り単位の変更 モードの切換 行番号 : 表示／非表示 復改コード : 表示／非表示 診断メッセージ : 表示／非表示 範囲指定の開始 : 行／文字列／矩形	
取消	編集	検索置換	位置付け
		ファイル	画面分割
		補助機能	終了

- ②↑↓キーを押し、"復改コード"に位置付ける。
 ②←→キーで"表示"か"非表示"に位置付け、リターンキーを押す。
 その他の変更についてはマニュアルを参照のこと。

【参考】

編集画面から、機能変更メニューを表示するにはCTRL+Pを押す。

4-2 ヘルプ

M I E D I T 使用中にキーの使用法や編集方法等がわからなくなった時に行う。
 メニューメッセージでパラメータ入力待ちのときに[HELP]キーを押すと対応するメニューのヘルプメッセージが直接表示される。
 Iキーで次画面を表示、↓キーで次行を表示、[E S C]キーでヘルプの終了。

4-3 コマンド

MI EDITを終了させることなくTSSコマンドが入力出来る。

- ① “コマンド”に位置付け、リターンキーを押すと次のようにコマンド入力となる。

```
[RUN] MI EDITL R001.1F 000 KBO
MI ED FL1 JIPS 挿入 行位置: 3 総行数: 12
.....*....1.....*....2.....*....3.....*....4.....*....5.....*....6.....*....7...
$      JOB
$      FRT77 LSTIN
      READ (5, 5) A, B, C
5   FORMAT (3F4. 2)
      D=A*B+C
      WRITE (6, 6) A, B, C, D
6   FORMAT (3X, 4F4. 2)
      STOP
      END
$      GO
```

コマンド
CATA

- ② コマンドを入力しリターンキーを押す。

```
[RUN] MI EDITL R001.1F 000 KBO
MI ED FL1 JIPS 挿入 行位置: 3 総行数: 12
.....*....1.....*....2.....*....3.....*....4.....*....5.....*....6.....*....7...
      LIST OF CATALOG A61234 ON 88/9/1 13:30
CATALOG
      FILES

      TEST1
      TEST3
CATA1
SPSS
      FIELD
      SGI
```

テキスト編集画面へ戻りますか (Y) または、TSSコマンドを呼び出しますか?
==>Y

ここで、Yを入力すると編集画面に戻る。

【参考】

編集画面から、コマンド入力にするにはCTRL+Nを押す。

5. 画面分割

画面の表示領域を分割し（上下に），2つのファイルの編集が行える。

- ① カーソルを画面中央あたりにもってくる（カーソルのある位置が境界となる）
- ② メニューキーを押し，“画面分割”に位置付ける。
- ③ “分割開始”に位置付けリターンキーを押す。

M I E D F L 1	挿入 行位置：	総行数：												
<pre>....*....1....*....2....*....3....*....4....*....5....*....6....*....7... \$ JOB \$ FRT77 LSTIN READ (5, 5) A, B, C 5 FORMAT (3F4. 2) D=A*B+C WRITE (6, 6) A, B, C, D 6 FORMAT (3X, 4F4. 2) ■ STOP ••• カーソル位置 END \$ GO</pre>														
<table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr> <td style="width: 15px; height: 15px;"></td> <td style="width: 15px; height: 15px;"></td> <td style="width: 15px; height: 15px;"></td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center; padding: 2px;">分割終了</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center; padding: 2px;">分割開始</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center; padding: 2px;">画面切換</td> </tr> </table>						分割終了			分割開始			画面切換		
分割終了														
分割開始														
画面切換														
取消	編集	検索置換	位置付け	ファイル	画面分割	補助機能	終了							

- ④ すると、次のようにカーソルがファイルの“読み込み”に自動的に位置付けられるのでリターンキーを押す。

書き出し	新規作成	読み込み
位置付け	ファイル	画面分割

- ⑤ ファイル名の入力画面となるので2つめのファイル名を指定。

⑥ 2つめのファイル (FL2) が正常に指定されると次の画面となる。

M I E D	FL 2	挿入 行位置 :	総行数 :
<pre>....*....1....*....2....*....3....*....4....*....5....*....6....*....7... \$ J O B \$ F R T 7 7 L S T I N R E A D (5, 5) A, B, C 5 F O R M A T (3 F 4. 2) D=A*B+C W R I T E (6, 6) A, B, C, D 6 F O R M A T (3 X, 4 F 4. 2)</pre>			
<pre>....*....1....*....2....*....3....*....4....*....5....*....6....*....7...</pre>			
<pre>C C C*****</pre>			
<pre>C* F O R T R A N T E S T P R O G R A M * C*****</pre>			
<pre>C C</pre>			
取消	編集	検索置換	位置付け
ファイル	画面分割	補助機能	終了

5-1 編集画面の切り替え

2つのファイルをそれぞれ編集するには、"画面切換"により行う。

この時、どちらのファイルが編集可能かは画面左上にファイル名が表示されるので確認できる。

【例】

2つめのファイル (FL2) のある部分を1つめのファイル (FL1) の任意の場所へ複写する。

- ① FL2の複写したい部分を範囲指定する

M I E D	FL2	行範囲指定中	挿入	行位置：	総行数：				
<pre>....*....1....*....2....*....3....*....4....*....5....*....6....*....7... \$ JOB \$ FRT77 LSTIN READ (5, 5) A, B, C 5 FORMAT (3F4. 2) D=A*B+C WRITE (6, 6) A, B, C, D 6 FORMAT (3X, 4F4. 2) -----*....1....*■..2....*....3....*....4....*....5....*....6....*....7... C C C*****C*****C*****C*****C*****C*****C C* FORTTRAN TEST PROGRAM * C*****C*****C*****C*****C*****C*****C C C</pre>									
範囲開始	範囲切換	複写	切取	貼付	取消	置換	順検索	画面切換	復活

- ② 複写 (p f + 3キー) する。これにより補助バッファにこの行が取り込まれた

- ③ 次に、1つめのファイル (FL1) を編集可能にするために画面切換 (p f + 9キー) を行う。

- ④ 1つめのファイル (FL 1) の複写したい場所にカーソルをもっていく。

M I E D F L 1

挿入 行位置： 総行数：

```
....*....1....*....2....*....3....*....4....*....5....*....6....*....7...
$      J O B
$      F R T 7 7   L S T I N
█ READ (5, 5) A, B, C
5  FORMAT (3 F 4. 2)
D=A*B+C
W R I T E (6, 6) A, B, C, D
6  FORMAT (3 X, 4 F 4. 2)
-----
....*....1....*....2....*....3....*....4....*....5....*....6....*....7...
C
C
C ****
C *  F O R T R A N   T E S T   P R O G R A M  *
C ****
C
```

範囲開始	範囲切換	複写	切取	貼付	取消	置換	順検索	画面切換	復活
------	------	----	----	----	----	----	-----	------	----

⑤ 貼付 (p f + 5 キー) を行う

M I E D F L 1	挿入 行位置：	総行数：							
<pre>.....*....1.....*....2.....*....3.....*....4.....*....5.....*....6.....*....7... \$ J O B \$ F R T 7 7 L S T I N R E A D (5, 5) A, B, C C **** * * * * * * * * * * * * * * * * * * C * F O R T R A N T E S T P R O G R A M * . . . この3行が複写された C **** * * * * * * * * * * * * * * * * * * 5 F O R M A T (3 F 4. 2) -----*....1.....*....2.....*....3.....*....4.....*....5.....*....6.....*....7... C C C **** * * * * * * * * * * * * * * * * * * C * F O R T R A N T E S T P R O G R A M * C **** * * * * * * * * * * * * * * * * * * C C</pre>									
範囲開始	範囲切換	複写	切取	貼付	取消	置換	順検索	画面切換	復活

【参考】

画面分割を開始する際、カーソル位置を中央付近でなく、最上行か最下行にカーソルをもってきで分割を行えば画面全体が新しい画面となり編集画面と表示画面の裏表処理が行われる。

5-2 分割終了

- ① メニューキーを押し“画面分割”に位置付ける。
- ② “分割終了”に位置付けリターンキーを押す。
これにより、編集中のファイルを保存するか否かの問い合わせがある。
- ③ 次に表示画面ファイルが編集ファイルとなるので引き続き編集を行う。

6. カストマイズ

カストマイズファイルを変更することにより、自分の好みにあわせたキーの設定が行える。このファイル名は決っており、". M I C S"というファイル名で作っておく。もし、このファイル名以外の名前で作った場合はコマンド入力時に、カストマイズファイル名を指定する必要がある。

【作成方法】

システムで用意しているカストマイズファイルを自分のファイルに複写する

***CPY ACOS6COMM/MIED/MIEDCS,R;..MICS**

次に..MICSの修正例を示す。(MEDITやNEDITで修正)

【例】

この例では、復改コードを表示するように変更し、またp f . 1 3キーを押すとカーソルを行の左端に移動させる(CTRL+Gと同じ機能)ということにする。

- ① p f . 1 3には既定値では何も機能の設定はされていない。ここで付録Bの機能説明でカーソルを行の左端に移動という機能番号は“59”となっているので例のようにP F . 1 3の行に追加を行う。その右に説明文をいれておくとわかりやすい。
- ② ..MICSの後半には初期値設定(この例のテキストタイプ以降)がある。この例では復改コードを表示するので“復改コード表示”的2を1(付録C起動時の初期値を参照)に変更している。

【注意】

1バイトのスペースと2バイトのスペースに気をつけて下さい。

以下に..MICSの修正例を示す

P F 1	48	範囲選択
P F 2	61	範囲切換
P F 3	2	複写
P F 4	3	切取
P F 5	4	貼付
P F 6	1	取消
P F 7	9	置換(文字列指定あり)
P F 8	11	順検索(文字列指定あり)
P F 9	23	切換
P F 10	30	復活
P F 11		
P F 12		
P F 13	59	カーソルを行の左端に移動する
P F 14		
P F 15		
P F 16	46	1行削除
•		
•		
•		
テキストタイプ		JIPS
タブ設定		1,8,16,32
スクロール単位		1P
再行番号付け		1010,10
行番号表示		1
復改コード表示		1 . . . 2 : 非表示を1 : 表示に変更
メニュー表示		2
P F キーガイド表示		1
挿入モード		2
範囲指定形式		1
横スクロール単位		3
エラーメッセージモード		1

付録A キー割り付け一覧

項 番 (カトマイ)	キ 一 操 作	機能番号	機 能	説 明
1	PF1	48	範囲選択	
2	PF2	61	範囲切換	
3	PF3	2	複 写	
4	PF4	3	切 取	
5	PF5	4	貼 付	
6	PF6	1	取 消	
7	PF7	9	置 換 (文字列指定あり)	
8	PF8	11	順検索 (" ")	
9	PF9	23	切 換	
10	PF10	30	復 活	
11	PF11			
12	PF12			
13	PF13			
14	PF14			
15	PF15			
16	PF16	46	1行削除	
17	PF17	63	カーソル直前一文字削除	
18	PF18	62	カーソル位置一文字削除	
19	PF19	58	モード切換 (上書/挿入)	
20	PF20			
21	PF21	29	メニュー表示 (表示中の押下はメニュー消去)	
22	PF22			
23	FNC + PF1			
24	FNC + PF2			
25	FNC + PF3			
26	FNC + PF4			
27	FNC + PF5			
28	FNC + PF6			
29	FNC + PF7			
30	FNC + PF8			
31	FNC + PF9			
32	FNC + PF10			
33	FNC + PF11			
34	FNC + PF12			
35	FNC + PF13			
36	FNC + PF14			
37	FNC + PF15			
38	FNC + PF16			
39	FNC + PF17			
40	FNC + PF18			
41	FNC + PF19			
42	FNC + PF20			
43	FNC + PF21			
44	FNC + PF22			
45	RETURN	65	行分割 (挿入モード)	
		65	カーソルを次の行の先頭に移動 (上書)	
		65	コマンドの実行 (パラメータ入力、メニュー選択時)	
46	復改	45	1行挿入	
47	実行/送信	65	行分割 (挿入モード)	
48	SKIP	35	カーソルを次のタブ位置に移動	
49	BSKIP	36	カーソルを手前のタブ位置に移動	
50	RESET	55	完結していないモードの取り消し	

項 番 (カストマイズ)	キ 一 操 作	機能番号	機 能 説 明
51	ESC	55	完結していないモードの取り消し
52	項消去	81	バラメータのフィールドを一括消去
53	項:K_0		
54	↑	31	カーソルを1行上に移動
55	↓	32	カーソルを1行下に移動
56	→	34	カーソルを1文字右に移動
57	←	33	カーソルを1文字左に移動
58	I	17	画面を一画面分ロールアップ
59	II	16	画面を一画面分ロールダウン
60	HELP	26	ヘルプ
61	FNC + RETURN		
62	FNC + 復改		
63	FNC + 実行／送信		
64	FNC + SKIP		
65	FNC + BSKIP		
66	FNC + RESET		
67	FNC + ESC		
68	FNC + 項消去		
69	FNC + 項:K_0		
70	FNC + ↑		
71	FNC + ↓		
72	FNC + →		
73	FNC + ←		
74	FNC + I		
75	FNC + II		
76	FNC + HELP		
77	FNC + RETURN		
78	FNC + 復改		
79	FNC + 実行／送信		
80	FNC + SKIP		
81	FNC + BSKIP		
82	FNC + RESET		
83	FNC + ESC		
84	FNC + 項消去		
85	FNC + 項:K_0		
86	FNC + ↑		
87	FNC + ↓		
88	FNC + →		
89	FNC + ←		
90	FNC + I		
91	FNC + II		
92	FNC + HELP		
93	CTRL + A	40	カーソルを1語手前(←)に移動
94	CTRL + B	51	ページライト
95	CTRL + C	17	画面を一画面分ロールアップ
96	CTRL + D	34	カーソルを1文字右に移動
97	CTRL + E	31	カーソルを1行上に移動
98	CTRL + F	39	カーソルを1語次(→)に移動
99	CTRL + G	59	カーソルを行の左端に移動する
100	CTRL + H	60	カーソルを行の右端に移動する
101	CTRL + I	56	行 分 割
102	CTRL + J	13	テキストの先頭へジャンプ
103	CTRL + K	14	テキストの最後へジャンプ
104	CTRL + L	15	指定行番号へジャンプ

項 番 (カットタイプ)	キ 一 操 作	機能番号	機 能 説 明
105	CTRL + M	37	マーク設定
106	CTRL + N	27	コマンド入力
107	CTRL + O	57	行 結 合
108	CTRL + P	24	機能変更メニュー
109	CTRL + Q	28	終 了
110	CTRL + R	16	画面を一画面分ロールダウン
111	CTRL + S	33	カーソルを 1 文字左に移動
112	CTRL + T	44	行の先頭からカーソル位置まで削除
113	CTRL + U	43	カーソル位置から行末まで削除
114	CTRL + V	52	ページレフト
115	CTRL + X	53	画面を一行分ロールアップ
116	CTRL + W	32	カーソルを 1 行下に移動
117	CTRL + Y	46	1 行削除
118	CTRL + Z	54	画面を一行分ロールダウン
119	CTRL + 0		
120	CTRL + 1		
121	CTRL + 2		
122	CTRL + 3		
123	CTRL + 4		
124	CTRL + 5		
125	CTRL + 6		
126	CTRL + 7		
127	CTRL + 8		
128	CTRL + 9		
129	CTRL + ,	49	次マーク行に位置付ける
130	CTRL + -	10	置 換 (文字列指定なし)
131	CTRL + .	50	手前マーク行に位置付ける
132	CTRL + /		
133	CTRL + :		
134	CTRL + ;		
135	CTRL + @		
136	CTRL + [
137	CTRL + ¥	8	逆検索 (文字列指定なし)
138	CTRL +]		
139	CTRL + ^	12	順検索 (文字列指定なし)
140	CTRL + !		
141	CTRL + "		
142	CTRL + #		
143	CTRL + \$		
144	CTRL + %		
145	CTRL + &	77	- 正規表現 -
146	CTRL + ,		
147	CTRL + (
148	CTRL +)		
149	CTRL + *	78	- 正規表現 -
150	CTRL + +		
151	CTRL + <		
152	CTRL + =		
153	CTRL + >		
154	CTRL + ?		
155	CTRL + _		
			注 1) 正規表現で使用されているため、変更しないほう が良い。

付録B 機能番号一覧

機能	説明	機能番号	機能キー	機能キー
取 消		1	PF6	
複 写		2	PF3	
切 取		3	PF4	
貼 付		4	PF5	
一括検索ウインドウ		5		
一括置換ウインドウ		6		
逆検索（文字列指定あり）ウインドウ		7		
逆検索（文字列指定なし）		8		
置換（文字列指定あり）ウインドウ		9	PF7	CTRL + ¥
置換（文字列指定なし）		10		CTRL + -
順検索（文字列指定あり）ウインドウ		11	PF8	CTRL + ^
順検索（文字列指定なし）		12		CTRL + J
先頭（テキストの先頭ヘジャンプ）		13		CTRL + K
最後（テキストの最後ヘジャンプ）		14		CTRL + L
行番号（指定行番号ヘジャンプ）ウインドウ		15		CTRL + R
前項／一画面ロールダウン		16	II	CTRL + C
次項／一画面ロールアップ		17	I	
書き出しウインドウ		18		
新規作成ウインドウ		19		
読み込みウインドウ		20		
分割終了		21		
分割開始		22		
切換（画面分割の画面を切り換える）		23	PF9	
機能変更ウインドウ		24		CTRL + P
再番号付ウインドウ		25		
ヘルプ		26	HELP	
コマンド入力		27		CTRL + N
終了		28		CTRL + Q
メニュー表示		29	PF21	
復活		30	PF10	
カーソルを1行上に移動		31	↑	CTRL + E
カーソルを1行下に移動		32	↓	CTRL + X
カーソルを1文字左に移動		33	←	CTRL + S
カーソルを1文字右に移動		34	→	CTRL + D
カーソルを次のタブ位置に移動		35	SKIP	
カーソルを手前のタブ位置に移動		36	BSKIP	
マーク設定		37		CTRL + M
カーソル位置を画面の先頭		38		
カーソルを一語次(→)に移動		39		CTRL + F
カーソルを一語手前(←)に移動		40		CTRL + A
カーソル位置の一文字削除(行結合無し)		41		
カーソル直前の一文字削除(行結合無し)		42		
カーソル位置から行末まで削除		43		
行の先頭からカーソル位置まで削除		44		CTRL + U
一行挿入		45	SHIFT+RETURN	CTRL + T
一行削除		46	PF16	CTRL + Y
行の先頭からカーソル位置まで空白挿入		47		
範囲選択開始		48	PF1	
次マーク行に位置付ける		49		CTRL + ,
手前マーク行に位置付ける		50		CTRL + .
ページライト		51		CTRL + B
ページレフト		52		CTRL + V
画面を一行分ロールアップ		53		CTRL + W
画面を一行分ロールダウン		54		CTRL + Z

機能説明	機能番号	機能キー	機能キー
完結していないモードの取り消し	55	RESET, ESC	
行分割	56		CTRL + I
行結合	57		CTRL + O
上書／挿入モード切換	58	PF19	
カーソルを行の左端に移動	59		CTRL + G
カーソルを行の右端に移動	60		CTRL + H
範囲切換	61	PF2	
カーソル位置の一文字削除（行結合有り）	62	PF18	
カーソル直前の一文字削除（行結合有り）	63	PF17	
カーソルを次行の先頭へ移動	64		
コマンドの実行（パラメータ入力、メニュー選択時）	65	RETURN, 実行	
行分割（入力モード）			
カーソルを次行の先頭へ移動（上書）			
文字キー			
一括検索開始	66		
一括検索終了	67		
一括置換	68		
書き出し	69		
新規作成	70		
読み込み	71		
-----	72		
外部行番号による位置付け	73		
相対位置付け	74		
—正規表現—	75		
—正規表現—	76		
サブファイル一覧	77		CTRL + &
タブセット	78		CTRL + *
パラメータのフィールドの一括消去	79		
	80		
	81		項消去

付録C 起動時の初期値

機能	既定値
言語タイプ	JIPS
タブ位置	なし
画面送り単位 (ページ:P, ハーフページ:H, ライン:L)	1P
再行番号表示 (開始行番号, 増分値)	10, 10
行番号表示 (有:1, 無:2)	1
復改コード表示 (有:1, 無:2)	2
メインメニュー表示 (有:1, 無:2)	2
PFキー機能説明表示 (有:1, 無:2)	1
上書/挿入モード (上書:1, 挿入:2)	2
範囲指定の開始形式 (行:1 文字列:2 矩形:3)	1
横スクロールの単位 (m分の1ページ)	3
診断メッセージ表示 (有:1, 無:2)	1